

2013年理系第1問

1枚目/2枚



1 2次関数  $f(x) = -x^2 - 2x + 1$ ,  $g(x) = -2x^2 + px + q$  について, 以下の設問に答えよ. ただし,  $g(1) = -2$ ,  $g(-1) = 0$  であり,  $p, q$  は実数の定数とする. 各設問とも, 解答とともに導出過程も記述せよ.

- (1)  $p$  と  $q$  の値を求めよ.  
 (2)  $f(x) < g(x)$  となる  $x$  の値の範囲を求めよ.  
 (3)  $h(x)$  を次のように定義する.

$$f(x) \geq g(x) \text{ の場合は } h(x) = f(x)$$

$$f(x) < g(x) \text{ の場合は } h(x) = g(x)$$

次に, 正の実数  $k$  に対して  $M(k)$  と  $m(k)$  を次のように定義する.

$M(k)$  は  $-k \leq x \leq k$  における  $h(x)$  の最大値

$m(k)$  は  $-k \leq x \leq k$  における  $h(x)$  の最小値

- (i)  $M(2)$  と  $m(2)$  の値を求めよ.  
 (ii)  $M(k)$  と  $m(k)$  の値を  $k$  を用いて表せ.

$$(1) g(1) = -2 \text{ より, } p + q - 2 = -2 \quad \therefore p + q = 0 \quad \cdots \textcircled{1}$$

$$g(-1) = 0 \text{ より, } -p + q - 2 = 0 \quad \therefore -p + q = 2 \quad \cdots \textcircled{2}$$

$$\textcircled{1}, \textcircled{2} \text{ より, } \underline{p = -1, q = 1} //$$

$$\begin{aligned} (2) f(x) - g(x) &= -x^2 - 2x + 1 - (-2x^2 - x + 1) \\ &= x^2 - x \\ &= x(x-1) \end{aligned}$$

$\therefore f(x) < g(x)$  より,  $f(x) - g(x) < 0$  なので,

$$x(x-1) < 0 \quad \therefore \underline{0 < x < 1} //$$

$$(3) (2) \text{ より, } 0 < x < 1 \text{ のときは, } h(x) = g(x) = -2x^2 - x + 1$$

$$x \leq 0 \text{ または } 1 \leq x \text{ のときは, } h(x) = f(x) = -x^2 - 2x + 1$$

まとめると,

$$h(x) = \begin{cases} -2x^2 - x + 1 & (0 < x < 1 \text{ のとき}) \\ -x^2 - 2x + 1 & (x \leq 0, 1 \leq x \text{ のとき}) \end{cases}$$

$$-2x^2 - x + 1 = -2\left(x + \frac{1}{4}\right)^2 + \frac{7}{8}$$

$$-x^2 - 2x + 1 = -(x+1)^2 + 2$$

であるから,  $y = h(x)$  のグラフは, 次のページのようになる.

2013年理系第1問

2枚目 / 2枚



1 2次関数  $f(x) = -x^2 - 2x + 1$ ,  $g(x) = -2x^2 + px + q$  について、以下の設問に答えよ。ただし、 $g(1) = -2$ ,  $g(-1) = 0$  であり、 $p, q$  は実数の定数とする。各設問とも、解答とともに導出過程も記述せよ。

- (1)  $p$  と  $q$  の値を求めよ。  
 (2)  $f(x) < g(x)$  となる  $x$  の値の範囲を求めよ。  
 (3)  $h(x)$  を次のように定義する。

$$f(x) \geq g(x) \text{ の場合は } h(x) = f(x)$$

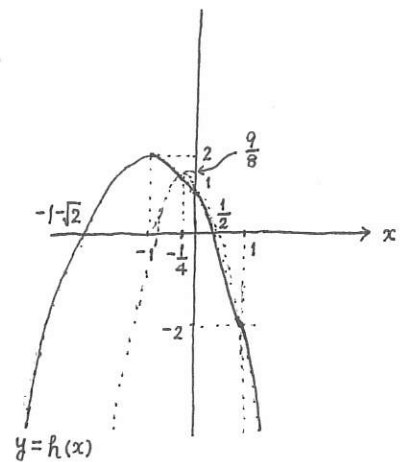
$$f(x) < g(x) \text{ の場合は } h(x) = g(x)$$

次に、正の実数  $k$  に対して  $M(k)$  と  $m(k)$  を次のように定義する。

$M(k)$  は  $-k \leq x \leq k$  における  $h(x)$  の最大値

$m(k)$  は  $-k \leq x \leq k$  における  $h(x)$  の最小値

- (i)  $M(2)$  と  $m(2)$  の値を求めよ。  
 (ii)  $M(k)$  と  $m(k)$  の値を  $k$  を用いて表せ。



(i) 右の図より、

$$M(2) = h(-1) = 2$$

$$m(2) = h(2) = -7$$

(ii)  $0 < k \leq 1$  においては、 $h(x)$  は単調減少より、

$$M(k) = h(-k) = -k^2 + 2k + 1$$

$$m(k) = h(k) = -2k^2 - k + 1$$

$1 < k$  においては、

$$M(k) = h(-1) = 2$$

$$m(k) = h(k) = -k^2 - 2k + 1$$

以上をまとめると、

$$M(k) = \begin{cases} -k^2 + 2k + 1 & (0 < k \leq 1) \\ 2 & (k > 1) \end{cases}$$

$$m(k) = \begin{cases} -2k^2 - k + 1 & (0 < k \leq 1) \\ -k^2 - 2k + 1 & (k > 1) \end{cases}$$